

船舶技術研究所報告（第18巻第4号）に掲載の論文等の紹介

研究論文の紹介

キャビテーション騒音の研究

荒 井 能

キャビテーションが発生しているときに、同時に騒音も発生していることは周知の事実ですが、この騒音を計測してキャビテーションの発生機構の解明や、キャビテーションの発生状況の推定などに、役立たせようとする研究の歴史は、まだあまり長くはありません。

筆者は、船用プロペラに発生するキャビテーションの騒音を計測することによって、キャビテーションの発生状況を推定する手段が得られるかどうかを試みました。その目的は、かなり大がかりな作業である実船のキャビテーション観測に代わって、より容易な騒音計測によって、プロペラの浸食に関係の深いクラウドキャビテーションを検知することでした。今回、定性的ではありますが、一応の成果が得られましたので報告させていただきます。

運輸省船舶技術研究所 研究調整官

(この論文紹介は昭和53年9月号より続けられております。)